

P422

FAIRUZ



The Vintage Resonance EQ That Never Existed

 **PULSAR
MODULAR**

Preface

Fairuz [ファイルーズ] は、フランス語の「pierre tourques (トルコ石)」に由来するアラビア語でトルコ石を意味します。この魅惑的な宝石は、その美しい青緑色の色合いで高く評価され、13 世紀にシルクロードを経由してトルコの商人によってヨーロッパに紹介されました。その豊かな歴史、神秘的な結びつき、そして永続的な美しさが、知恵、バランス、コミュニケーション、そして芸術的なインスピレーションの象徴として広く認識されてきました。

古代ペルシャ人は、トルコ石が害を防ぐと信じ、護身のためにその短剣や馬具をトルコ石で覆いました。彼らはトルコ石を「pirouzeh (勝利)」と呼びました。ネイティブアメリカンのアパッチ族は、トルコ石を護符として身に着け、武器や弓に付けることで照準が良くなると信じていました。アステカの首長たちは、権威の象徴としてトルコ石の宝飾品を身に着けていました。

トルコ石の歴史的意義と文化的影響にインスパイアされて、P422 Fairuz は、音響処理の分野でこの石の超越的な特徴を体現することを目指しています。トルコ石がその強化と保護の能力で評価されるように、P422 Fairuz は、EQ をかけている楽器の自然な共鳴と豊かさを引き出します。極端なブーストやカットを行っても、音の整合性が保たれます。

P422 Fairuz は、多機能でチャンネルに特化したプロポーション EQ です。各ステップ周波数ポイントは、内包するスイートスポットのために耳で調整されており、パワーユーザー向けにバンドを連続操作に切り替えるオプションも提供されています。バンドは、ピークまたはパンチ(プッシュ/プル)カーブのいずれかに設定できます。Fairuz は、どのハードウェアデザインも模倣せず、既存のハードウェアイコライザーの制約や音響制限から解放されたオリジナルデザインです。各周波数およびゲインポイントは、Fairuz が提供する音を正確に再現するために慎重に構築されています。

Ziad Sidawi
Audio Equipment Designer & CEO
Pulsar Novation LTD



12 dB/Oct LPF

LPF周波数セクター

Voice

楽器特有の音楽的文脈に合わせて全体的な音色プロファイルを調整します

OUT: クリーンデジタルゲイン

RMS または PEAK IN/OUT

12 dB/Oct HPF

HPFをHAMMERの前または後に割り当て

HPF周波数セクター

Tremor: Infrasonic bliss.

Low Shelf On/Off

Low Shelf boost/cut

Low Shelf 周波数ポイント

P422

FAIRUZ

MIX

HIGH

HI-MID

LO-MID

LOW

TREMOR

LO SHELF

HI SHELF

Mix: Wet/Dry の信号ブレンド

バンドa/周波数スペクトラムビジュアライザーを展開/折りたたむ

Q: プロポーションナルQの形状
パンチ、パンチx2、ピーク
フィルターの形状

4 Band ±12 dB イコライゼーション

Step: ゲインと周波数のステップ制御、連続制御を切り替えます

Freq. Band: EQ帯域の中心周波数

High Shelf On/Off

High Shelf boost/cut

High Shelf 周波数ポイント

ビジュアライザーを展開/折りたたむ

オフの時は、EQバンドビジュアライザーのみが表示されます。

dBスケールを増加させる

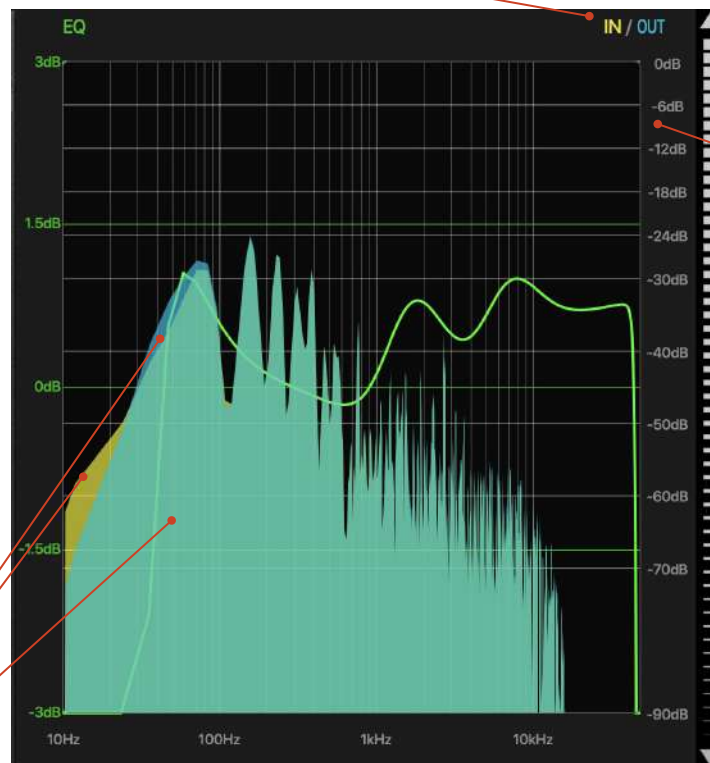
EQバンドのゲイン/アッテネーション (dB)



EQバンドビジュアライザー

黄色のスペクトルは入力信号を表し、青は出力、ターコイズは共通周波数を表します。

入力および出力周波数スペクトルをそれぞれの色で



IN/OUT信号のゲイン/減衰 (dB)

EQバンドと周波数スペクトラムビジュアライザー

LPF を有効または無効

12 dB/oct 2-pole Filter を特徴とするローパスフィルター

VOICE は中間的な存在感と密度(時計回り)またはリラックスした明瞭さを強調します。(反時計回り)

RMS または PEAK IN/OUT メータリングを切り替えるには、いずれかのラベルをクリックしてください

OUT ノブは、HAMMER アイコンが OFF のときはクリーンなデジタルメイクアップゲインであり、ON のときは OUT ノブが HAMMER にルーティングされます。



従来のバンドカーブに加えて、即座に使用できるようにカットとブーストが完璧に調整された2つのPultecスタイルのバンドカーブがあります。二つの異なるバンド周波数をいじる必要はもうありません。

各バンドの周波数とゲインを段階的または連続的に設定

フィルター形状セレクター:
Punch X1 / Punch X2 / Peak

ゲインスライダー: ± 12 dBまで

4 Band: Low、Lo-Mid、Hi-Mid、High Bandの周波数ダイヤル

注意: RMS メータリングは、より平均的で持続的な測定を提供し、時間の経過とともに信号の知覚される音量をより良く描写しますが、ピークメータリングは信号の最大瞬間レベルを認識することに重点を置いています。

バンドをオン/オフにするにはクリックしてください。

ハイパスフィルターは、カットオフポイントでの適度な共振ピークを強調した 12 dB/oct の 2 ポールフィルターを特徴としています。HPF アイコンを押して有効化 / 無効化します。

TREMOR は聞こえるよりも感じられると表現される轟音の超低周波領域を占めています。TREMOR スライダーは回路の周波数と振幅の両方を制御し、スライダーを右に動かすとゲインと周波数位置の両方が増加します。



バンドがオフのとき、ノブの色が変わってオペアンプがその周波数帯域をまだ飽和させていることを示します。

バンドがオフのとき、ブースト / カットはバンドゲインに影響を与えずにオペアンプの飽和を増減させます。

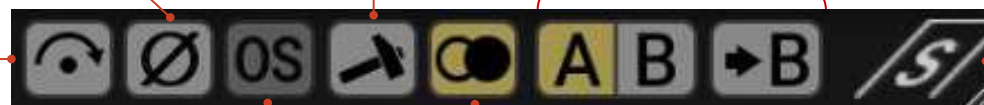
LO SHELF と HI SHELF フィルターは非常に滑らかなカーブを持ち、LO SHELF の後には補完的なディップがあり、HI SHELF の前にもディップがあります。ディップは自然にカーブへの移行を滑らかにし、ブーストやカットを際立たせます。これは、微細な調整でも音声に自然な響きながらも深い影響を与えることができることを意味します。一方で、これらのフィルターはソース信号との自然な統合感と敬意を保ちながら強く押し込むように設計されているので、これまで教わったことを忘れて、自由に実験してみてください。

Hammer 回路、outputトランス

オーディオ信号の極性を反転

A/B は、迅速な比較のために異なる設定を一時的に保存することを可能にします。矢印ボタンを使うと、アクティブな側をインアクティブな側にコピーできます

Bypass はオーディオ信号を処理せずに通過させます



現在の GUI サイズを保存

Hammer 回路をオーバーサンプリング
サンプルレート 88.2 kHz 以下で利用可能

Force Mono オプションは、モノソースを2つの同ーステレオチャンネルとして表現する DAWで、シングルチャンネル処理を確実にするために便利です。

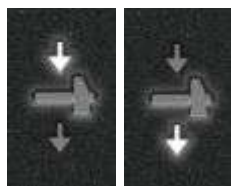
ステップ/連続



各バンドの周波数とゲインをステップまたは連続で選択できます。ステップ周波数の各ポイントと各ゲインポイントは、Fairuz デザイナーの耳によって特別にスイートスポットに調整されています。

必要に応じて連続モードに切り替えることで、より柔軟な制御が可能になります。内部的には、Fairuz は連続的な設計に基づいており、特定の音楽性と楽器の既に存在する美しい自然音響共鳴を強化する能力を持つステップが選ばれています。ステップ選択は、連続モードでは得られない精度の度合いを持っています。例えば、ステップポイントは分数値である可能性がありますが、連続モードでは全周波数ポイントを使用します。

ハンマーサーキット



HAMMER は、OUT ノブの後に配置され、VOICE 回路に接続された出力トランスです。低音を引き締めながら、追加の倍音系列で信号を強化します。HAMMER が有効になると、VOICE 回路に加えられた調整により、周波数応答がより大きく変化し、倍音活動が増加します。

さらに、HPF は異なる低音結果を得るために、Hammer トランスの前または後ろに配置することができます。

EQ バンドカーブ



Punch X1 / Punch X2 / Peak セレクターは、バンドごとにフィルター形状の選択を提供します。
利用可能な選択肢は次のとおりです。

- **Punch X1**: Punch X1 filter は Push/Pull デザインを特徴としており、中心周波数でピークフィルターを使用し (push)、音楽的に魅力的な補完周波数で自動的に反対の調整を行います。(pull).
- **Punch X2**: Punch X1 の拡張版で、振幅が2 倍になります。
- **Peak**: Peak filter は、スムーズで自然かつ音楽的なブーストとカットのためにプロポーションナルQ を使用します。ブーストやカットが増加するにつれて、スロープはより急で狭くなります。
点灯しているLED シンボルは選択されたオプションを示しています。

注: Push/Pull は、クリーンで制御された、集中したパンチを作り出すことで知られている有名なフィルタリング技術です。通常、個別の周波数とゲインオプションを持つ2 つの別々のフィルターを使用します。柔軟性がある一方で、これが混乱や再考を引き起こし、設定調整に時間を浪費することがあります。Fairuz は効率的で美しいように設計されているため、中心周波数に対する理想的な対策が自動的に適用されます。

ヒントとコツ

- Fairuz はサチュレーションユニットとして使用できます。すべてのEQバンドをオフにし、すべてのバンドGAINを最大にし、VOICEを100にして、Hammerをオンにします。MIXトリムポットを使って、音をドライ信号とブレンドしてください。
- TREMORをハイパスフィルターと組み合わせて、低音のパワーとタイトさをコントロールしてみてください。
- 望ましい周波数を失うことなく不要な周波数を減らすにはPunch X1/X2 フィルターブーストで囲まれたピークフィルター減衰を使用します。2つのオプションがあります。1つは、Fairuzの1つのインスタンスでピークフィルターの両側にPunch X1/X2バンドを配置する方法、もう1つは、より柔軟にするためにPunchバンド用の2つ目のインスタンスを使用する方法です。この技術は、不要な共鳴やホイッスル音をターゲットにして減少させる一方で、周囲の周波数を強化します。
- 各ステップ周波数のポイントと各ゲインポイントはFairuzデザイナーの耳によって特別にスイートスポットに調整されています。必要に応じて連続モードに切り替えることで、より柔軟なコントロールが可能になります。HPFで共鳴ピークをさらに強化するために、TREMORを増やしてみてください。この組み合わせは、同時に大きくて力強い低音と、引き締まってコントロールされた低音を実現するのに最適です。
- VOICEが正の値に設定されている状態でHammerがアクティブな場合、OUTノブを上げると出力トランスがオーバーロードし、さらに強烈な非線形ハーモニック挙動が生じます。

プリセットの管理

基本

インストール中にプリセットをインストールするオプションが選択されたままだと、インストーラーが工場出荷時のプリセットを上書きします。ユーザーが作成したプリセットは変更されません。工場出荷時のプリセットに加えた変更を保護し、アップデート中にそれらを保持するためには、インストーラーを実行する際にプリセットのインストールオプションのチェックを外してください。また、プリセットブラウザの右側にある「名前を付けて保存」オプションを使用して、異なる名前で自分のプリセットを保存することを忘れないでください。

プリセットのバックアップ

プリセットは、オペレーティングシステムのファイルマネージャーを使用してバックアップおよび復元できます。単に個別のプリセットファイルやプリセットフォルダ全体をコピーして、任意のバックアップ場所に貼り付けるだけです。プリセットフォルダーは次の場所にあります：

Windows

「C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular\P422 Fairuz\Presets」

macOS

「/Users/Shared/Pulsar Modular/P422 Fairuz/Presets」

修飾キー

パラメータを一時的にバイパス

CTRL+ALT (Windows)、CMD+OPTION (macOS) + Mouseover

- Low & High Shelf.
- HPF & LPF and RES.
- BIAS, TIBO, SAT, TREMOR, SCALE.
- SOUL, O2, HW.
- Band GAIN.
- Fine-tune: Q, Hz, dB.

オプションを切り替える

マウスクリックで次、右クリックで戻る

- Stereo, L, R, MID, SIDE
- HW modes, TX modes.
- Q factor の選択 (右クリックのみで戻る)

レゾナンスハント

マウス右クリック (Peak) またはマウス右クリック (Notch).

- FREQ ノブまたは FINE Hz スライダー

自動化のためのパラメータを有効にする (Pro Toolsのみ)

macOS では Control + command + option (^ + ⌘ + ⌥)、Windows では CTRL + ALT + START ()。

ノブ、スライダー、その他のコントロールの微調整

macOS では control (^)を、Windows では CTRL を押しながらかリックしてドラッグします。または、キー修飾子なしで右クリックしてドラッグしてください。

コントロールをデフォルトの状態に戻す

macOS ではOption (⌥)を、Windows では ALT を押しながらかリックしてください。または、キー修飾子を使わずにダブルクリックしてください。

P422 Fairuzをアンインストール中

Windows

- VST3:「C:\Program Files\Common Files\VST3」に移動し「P422 Fairuz.vst3」ファイルを見つけて削除してください。
- AAX:「C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins」に移動し「P422 Fairuz.aaxplugin」フォルダを見つけて削除してください。
- 共有:「C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular」に移動し「P422 Fairuz」フォルダを見つけて削除してください。

このフォルダーにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。「Pulsar Modular」の下に他のフォルダが存在しない場合、これも削除できます。

macOS

- AU:「/Library/Audio/Plug-Ins/Components」に移動し「P422 Fairuz.component」ファイルを見つけて削除してください。
- VST3:「/Library/Audio/Plug-Ins/VST3」に移動し「P422 Fairuz.vst3」ファイルを見つけて削除してください。
- AAX:「/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins」に移動し「P422 Fairuz.aaxplugin」フォルダを見つけて削除してください。
- 共有:「/Users/Shared/Pulsar Modular」P422 Fairuz」フォルダを見つけて削除してください。

このフォルダにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。「Pulsar Modular」の下に他のフォルダが存在しない場合、これも削除できます。

制限

ユーザーは、PULSAR NOVATION LTD のオーディオプラグインを逆アセンブル、再サンプリング、インパルスレスポンスプロファイルの作成、再録音、デコンパイル、変更、または部分的または全部を改変することを、賃貸、リース、配布、再パッケージの目的で行ってはなりません。(利益のためであれ、そうでなかれ).

プラグインデザイン: Ziad Sidawi

プラグイン開発: Pulsar Modular Team

GUI 開発: Max Ponomaryov / azzimov GUI design – www.behance.net/azzimov

ユーザーガイド: Kevin Eagles / Naruki Konagaya – nk-productions.net

ページレイアウト: Kevin Eagles & Hisham Sidawi

テスター:	Leo Alvarez	Gus Granite	Mark Pixley
	Liam Black	Matthew Gray	Niklas Silen
	denork	Naruki Konagaya	Hilton Stroud
	Kevin Eagles	Matthias Klein	

特別感謝: Durk Diggler

このユーザーガイドに誤りや抜け漏れがありましたら、どうぞ遠慮なく support@pulsarmodular.com までご報告ください。

Copyright 2024, Pulsar Novation Ltd.

P/N: 32906, Rev. 1.0

Pulsar ModularはPulsar Novation Ltd.の登録商標です。

P422 Fairuzは、Pulsar Novation Ltd.が所有するプラグイン名です。

AAXおよびPro ToolsはAvid Technologyの商標です。名前とロゴは許可を得て使用されています。

Audio UnitsはApple, Inc.の商標です。

VSTはSteinberg Media Technologies GmbHの商標です。

ここに含まれるその他の商標は、それぞれの所有者の財産です。

Pulsar Novation Ltd.

Demircikara District, 1419 Street, Ocean City Block B, Floor 4

Muratpaşa, ANTALYA 07100 +90-530-111-4907

www.pulsarmodular.com